

## イベント開催の報告

### 国産セキュリティ推進フォーラム 2025

～なぜ「国産」なのか？日本の技術がつくる、“信頼”と“選択肢”～

JNSA 会員交流部会 国産セキュリティ産業振興 WG：栗原 啓、中本 琢也

#### セミナー報告

国産セキュリティ産業振興WGは会員交流部会のWGとして2025年に新設されました。

国産セキュリティ産業（ソフトウェア、アプライアンス、SaaS）の振興を目的にイベント開催や国産セキュリティ企業とSIerを繋げるマッチングイベントなどの活動を行っており、2025年10月29日に初のお披露目イベントとして「国産セキュリティ推進フォーラム2025」～なぜ「国産」なのか？日本の技術がつくる、“信頼”と“選択肢”～を経済産業省別館7階（通称：ペツナナ）にて開催しました。

#### セミナー内容

サイバーセキュリティの脅威が日々高まる中、「国産セキュリティ推進フォーラム2025」では、経済産業省が本年3月5日に発表した「サイバーセキュリティ産業振興戦略」に連動し、主催JNSAおよび共催経済産業省の連携のもと、「なぜ“国産セキュリティ”がいま必要なのか？」をテーマに、製品・サービスの提供に携わる企業、サイバーセキュリティ領域のスタートアップ、メーカーなど、さまざまな関係者とともにその意義を多角的に探求しました。

30

#### 各プログラムの紹介

##### 基調講演：サイバーセキュリティ産業振興戦略について（30分）

武尾 伸隆氏（経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長）

##### 特別講演：日本初、サイバーセキュリティ企業が集い出資するファンドの取り組み（30分）

青柳 史郎氏（日本サイバーセキュリティファンド1号投資事業有限責任組合  
グローバルセキュリティエキスパート株式会社 代表取締役社長）

##### SIer講演：SIerから見た国産セキュリティ（20分）

扇 健一氏（株式会社日立ソリューションズ シニアセキュリティエバンジェリスト）

##### 国産セキュリティ企業 LT（30分）

##### パネルディスカッション：

##### ベンダー × SI × METI で語る、国産サイバーセキュリティ産業の未来（40分）

モデレーター：江崎 浩（JNSA 会長）

パネリスト：出口 聰氏（経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 企画官）

扇 健一氏（株式会社日立ソリューションズ）

小路 幸市郎氏（サイエンスパーク株式会社 代表取締役）

長谷川 陽介氏（株式会社セキュアスカイ・テクノロジー CTO）

各プログラムでは講師それぞれの立場から有意義な公演を頂戴しました。

また、パネルディスカッションでは江崎 浩がモデレーターを務め、様々な立場のパネリストが国産セキュリティ産業を高め、広めるために何が必要なのか白熱した議論を交わしました。

## 参加者の反応

- イベントは申込101名、当日会場には84名が参加
- 参加者の約半数が回答したアンケート結果では参加者の97%が参考になったと回答
- メーカーやSIer、政府など複数の取組について理解が深まったという声を頂いています

## まとめ

国産セキュリティ産業振興WGとしては初めてのイベントとなりましたが、イベント申込サイトの公開から1週間ほどで定員に達し参加をお断りする必要があったほど、国産サイバーセキュリティ振興に関する皆さまの興味・関心が高いことを改めて実感しました。

今回のイベントは国産セキュリティ産業振興の「第一歩」と捉えています。本イベントでは「なぜ国産か」という意義を問うとともに、国産セキュリティ産業を盛り上げるべく発足した本WGの活動および経済産業省との連携（JNSAとMETIが連携した活動）を、皆様に広く知っていただくことに重点を置きました。アンケート結果からも、この活動の必要性や皆様の関心の高さが明らかになった今、WGの次なるステップは、「優れた国産製品・サービスを、いかにして市場に届け、広めていくか」という、より具体的なビジネス連携の創出にあると考えています。

そのための具体的な活動として、現在は「国産メーカー」と「SIer」が直接協業を議論できるビジネスマッチングイベントを鋭意企画しております。

国産セキュリティ産業の振興には、優れた「技術（メーカー）」と、それを届ける「販売力（SIer）」の強固な連携が不可欠と考えておりますので、本WGがその「架け橋」となるべく、継続して活動してまいります。今後のイベント情報にご期待いただくとともに、JNSA会員の皆様の積極的なご参加・ご協力を心よりお待ちしております。



<参考><https://www.jnsa.org/seminar/kouryu/nsi/20251029/>

